



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

「安心のふるさとづくり(成熟)」と  
「力強い産業都市づくり(成長)」と  
「『成長』と『成熟』を支える基盤づくり」

- みずほ証券(株)プロダクツ本部シニアプライマリーアナリスト
- フコクしんらい生命保険(株)取締役執行役員財務部長
- 川崎市長

香月 康伸 氏  
林 宏明 氏  
福田 紀彦

川崎市IR説明会 パネルディスカッション

# 安心のふるさとづくり(成熟)

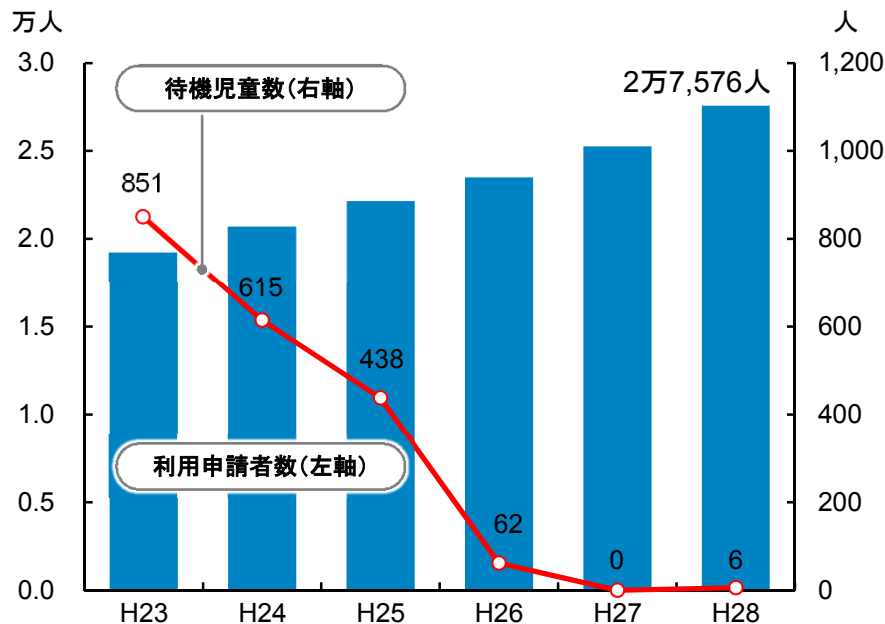
## 待機児童対策の継続的な推進

### これまでの取組

#### 平成27年4月には待機児童解消を達成

- 「待機児童ゼロ対策推進本部」の設置(平成25年12月)
- 待機児童解消を達成(平成27年4月)
- 若い子育て世帯の流入等により申請数が過去最大を更新する中、保育受入枠の拡充等を継続して推進(平成28年度の受入枠拡充数:1,867人の増)

#### 利用申請者数等の推移(4月時点)



### 平成29年度中の取組

#### 待機児童解消に向けた取組の継続

##### 保育受入枠の拡充

- 認可保育所等の整備の推進(1,746人分の増)
- 川崎認定保育園や幼稚園等の既存資源も積極活用

##### 保育の質の担保・向上

- 地域の公立保育所を拠点とした包括的な人材育成
- 積極的な保育人材の確保

##### 横浜市との待機児童対策の連携

- 政令市間で全国初となる協定締結
  - 共同整備保育所2か所目の開設
  - 両市保育施設の相互利用の促進等



「子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり」を目指し、待機児童解消に向けた取組を実施

### 地域包括ケアシステムとは

- 地域の実情に応じて、「医療・介護・福祉・予防・住まい・生活支援」等が切れ目なく一体的に提供される体制のこと
- これを実現するためには、自分自身のケア(自助)、みんなの支え合い(互助)、社会保険制度(共助)、行政サービス(公助)による取組が必要
- こうした取り組みは、住民をはじめ、事業者や町内会・自治会などの地域組織、ボランティア団体、行政などが、一体となって、地域全体で推進していくことが重要

### 地域包括ケアシステムイメージ図



### 川崎市の目指す地域包括ケアシステム

誰もが住み慣れた地域や  
自らが望む場で安心して  
暮らし続けられる地域の実現

### 対象者

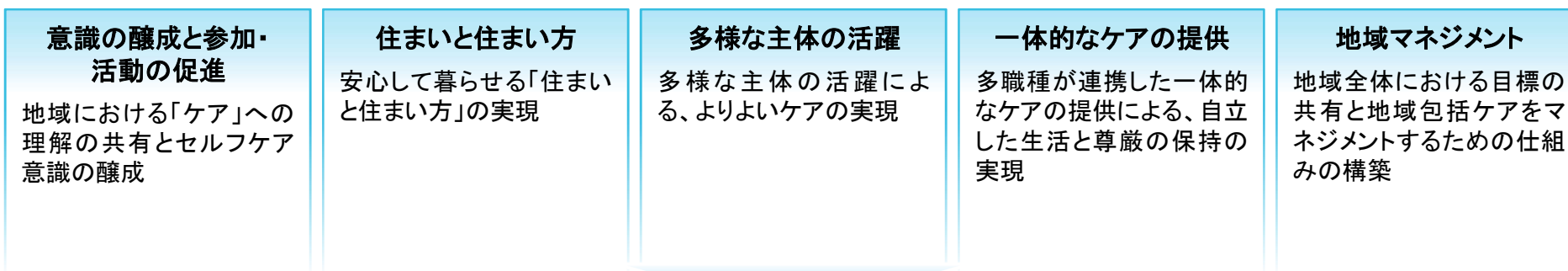
高齢者、障害者、子ども、子育て中の親、現時点でケアの必要がない方など、**全ての地域住民**を対象とする。

### 川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン ～一生住み続けたい最幸のまち・川崎をめざして～

#### 基本理念

- 川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築による誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現

#### 基本的な視点



推進ビジョンを反映した目標・方針・施策の具体化

実現に必要な資源・体制・手法の明確化

#### 関連計画



など

#### 地域包括ケアシステムの構築に向けた具体的な取組

##### 地域みまもり支援センターの設置(平成28年4月)

- 各区役所内に地域みまもり支援センターを設置。生活課題への対応や地域のネットワークの構築など「個別支援の強化」と「地域力の向上」を図る。

##### 保健医療福祉分野における事業計画の改定(平成29年度)

- 平成29年度に改定する保健医療福祉分野の事業計画について、「地域包括ケアシステム推進ビジョン」を踏まえた一体的な計画となるよう策定を進める。

# 安心のふるさとづくり(成熟) かわさきパラムーブメント

## かわさきパラムーブメントについて

- 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、本市は「かわさきパラムーブメント」をメインコンセプトに掲げ、2020年のその先へとつながる新しい社会を市民と共に創る運動として発展させていく

### かわさきパラムーブメントの背景と目指すもの

#### 将来の課題を先取りする

少子高齢化、人口減少社会の到来を見据え、持続可能なまちづくりを進めていくため、一人ひとりが尊重され、能力を発揮することができる環境づくりを進める

#### パラリンピックに重点を置くということ

パラリンピックを未来につながるダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(さまざまな人が自分らしく社会の中に混ざり合えること)の象徴と捉え、パラリンピックに重点を置く

#### 「かわさきパラムーブメント」から市制100周年へ

「かわさきパラムーブメント」が市内の隅々に行き渡ること、東京2020大会終了後、さらには2024年の市制100周年につながる実践的な取組が進む



# 安心のふるさとづくり(成熟) かわさきパラムーブメント

## 取組期間 ~3つのフェーズ~

2016年度	推進期間 第1期	<b>フェーズⅠ 開催につなげる取組期間</b>
2017年度		本市のビジョンを共有化し、取組の基礎となるネットワークやしくみづくりを重点的に推進
2018年度	推進期間 第2期	<b>フェーズⅡ 大会を成功させる取組期間</b>
2019年度		大会運営に向けた取組の推進と、「かわさきパラムーブメント」を実践する取組を展開
2020年度	推進期間 第3期	<b>フェーズⅢ 未来につなげる取組期間</b>
2021年度		東京2020大会を盛り上げる取組の実施と、取組の振り返りに基づく持続的な取組への発展



# 安心のふるさとづくり(成熟) かわさきパラムーブメント

## 「かわさきパラムーブメント」の5つの方向性と主な取組

### 01 ひとづくり

東京2020大会に向けたボランティア人材の育成や心のバリアフリー、国際交流を推進することで、心がつながり通い合う、「ひとづくり」のための取組を進めます。

- 1 ボランティア活動の推進
- 2 心のバリアフリーの推進
- 3 国際交流の推進

#### ■大会後のレガシー

- ◎ ボランティア文化（人材・しくみ・意識）
- ◎ 心のバリアフリー
- ◎ 多文化共生の社会
- ◎ 国際社会に貢献できる人材
- ◎ 障害のある人に配慮した就労環境

#### CHECK!

川崎国際多摩川マラソンで活躍するボランティア

障害のある方がランナーの走りを支える側として就労体験を行っています。



### 02 スポーツ振興・健康づくり

誰もが健康的で生き生きと暮らすことのできるまちづくりに向けて、スポーツや運動に親しめる環境づくりを進めるとともに、オリンピックやパラリンピックをはじめとする世界の舞台で活躍する川崎育ちのアスリートを育成するための取組を進めます。

- 1 障害者スポーツの推進
- 2 スポーツによる体力向上や健康づくり
- 3 JOC や JPC との連携の推進

#### ■大会後のレガシー

- ◎ 誰もがスポーツに親しめる環境
- ◎ 健康づくりや生きがいににつながるスポーツや運動の習慣
- ◎ アスリートを発掘・育成・支援する環境

#### CHECK!

スポーツを通じたインクルージョンへの挑戦

「ゴールドレンジランプリ陸上2016川崎」では、パラリンピック種目であるT4.4/4.7クラスの男子100mレースが行われ、2万人を超える観客が湧きました。



### 03 まちづくり

東京2020大会を契機に、交通環境の向上をはじめ、駅周辺や公共施設のバリアフリー化、多言語化に配慮した案内表示の充実など、ユニバーサルデザイン化の推進や、交通ネットワークを戦略的に充実させるための取組を進めます。

- 1 交通環境の向上
- 2 案内表示の充実
- 3 バリアフリー化の推進

#### ■大会後のレガシー

- ◎ ユニバーサル化（バリアフリー化・多言語化）の進んだ公共空間
- ◎ 羽田空港を核とする成長戦略拠点と運動した交通ネットワークの形成

#### CHECK!

川崎の玄関口がより魅力的に！  
～川崎駅北口自由通路 2017年度供用開始～

分かりやすいサイン計画などユニバーサルデザイン化や、本市の魅力発信や行政サービスコーナーなどの複合機能を持つ施設の開設を進めています。



### 04 都市の魅力向上

市内への集客・回遊性の向上や、外国人観光客など、本市を訪れる人へのおもてなしの取組を進めます。また、誰もが文化芸術に親しめる環境づくりを進めるとともに、文化芸術の振興により本市のブランド力を高めます。

- 1 市内への集客・回遊性の向上
- 2 外国人観光客の増加に向けた取組
- 3 文化・芸術の振興

#### ■大会後のレガシー

- ◎ 多言語に対応した観光施設
- ◎ 拠点化、ネットワーク化された観光資源
- ◎ 市民・来訪者がICTを利用しやすい環境
- ◎ 国内外に浸透した本市のブランドイメージ
- ◎ 誰もが文化芸術に親しめる環境

#### CHECK!

多彩な魅力と多言語サービスで外国人観光客の人気もUP ～生田緑地～

藤子・F・不二雄ミュージアムの多言語音声ガイド「おはなしデンリ」や、日本民衆館の外国語リーフレットなど、海外のお客様のおもてなしを進めています。



### 05 先進的な課題解決モデルの発信

本市が持つものづくり技術や、集積する高度先端技術を活かし、成長が期待されるライフサイエンス、環境、福祉などの産業分野において、国際社会への貢献や持続的な経済成長に寄与する取組を進め、国内外に広く発信していきます。

- 1 先端技術の世界に向けた発信

#### ■大会後のレガシー

- ◎ 高度な医療ニーズに対応した革新的な医薬品・医療機器の開発による国際的な課題解決への寄与
- ◎ 低炭素化の推進による地球環境問題解決への寄与
- ◎ 新たな福祉製品・サービスの創出による国際的な高齢化の課題解決への寄与
- ◎ 先端技術に関する世界的なプレゼンス

#### CHECK!

水素を「つくる」「ためる」「つかう」をワンストップで実現

再生可能エネルギーと水素を用いた世界初の自立型エネルギー供給システム「H<sub>2</sub>O<sub>1</sub>」の共同実証を川崎臨海部で進めています。



## Topics!

英国オリンピック代表チーム  
“TEAM GB”がやってくる  
一流のアスリートに間近に接し、触れ合う。

- 平成29年3月21日、川崎市と英国オリンピック委員会は、東京2020大会に向け本市の等々力陸上競技場において陸上競技、ラグビー、サッカーの3競技の事前キャンプを実施するための協定書を締結





# 力強い産業都市づくり(成長) 臨海部における国際戦略拠点の形成とマネジメント

## 羽田空港の対岸に位置する「KING SKYFRONT」(約40ha)を 中核として革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出をめざす

**羽田空港**

**羽田連絡道路**  
 2020年を目指して整備を推進

**1 川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)**  
 平成25年3月運営開始

- 川崎市の研究機関のほか、民間企業が入居する複合施設
- 平成28年4月に慶應義塾大学殿町タウンキャンパスが開設

**2 実中研 再生医療・新薬開発センター**  
 平成23年7月運営開始

- 再生医療による脊髄損傷やアルツハイマー治療などの先端医療の実現を目指す

**3 大和ハウス工業(株)**  
 平成27年度から複数の工区に分けて順次着工予定

- 川崎市と連携・協力して、地域活性化のためのまちづくりを進める
- 研究活動を活性化するための交流促進機能、生活利便・リフレッシュ機能としてホテル及びカフェの運営事業者が平成28年9月に決定(事業者は(株)東急ホテル、(株)ダブリューズカンパニー)

**4 JSR(株)** 平成29年1月進出決定

- 診断試薬やバイオプロセス材料の開発・製造・販売等

**5 川澄化学工業(株)** 平成29年1月進出決定

- 医薬品、医療機器の開発・製造・販売

**6 クリエイトメディック(株)**  
 平成28年6月 運営開始

- 人体への適合性の優れたシリコン製を中心とする医療用の細管「カテーテル」の研究および開発

**7 国立医薬品食品衛生研究所**  
 平成29年度 運営開始予定

- 医薬品、食品等の品質、安全性並びに有効性の評価に関する試験・研究を実施
- 地方衛生研究所や検疫所に技術指導を行うほか、世界各地からの研究者の受入、研修等を実施

**8 ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)**  
 平成27年4月運営開始

- 京浜臨海部のものづくり企業群、羽田空港との近接性や特区制度の活用により、ナノ医療技術の国内外ネットワークのハブを構築
- 医療的・産業的インパクトの大きい3領域(医薬品、診断・治療機器、再生医療支援)において、ナノ医療技術の実用化に向けた研究を実施

**9 ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 東京サイエンスセンター**  
 平成26年8月 運営開始

- 高度医療機器の安全使用のための医師向けの研修を実施
- 開発中の医療機器の評価試験を実施

**10 (公社)日本アイソトープ協会**  
 平成29年度 運営開始予定

- アイソトープ製品の試験・研究開発、供給関連業務、普及啓発等

**11 ライフイノベーションセンター**  
 平成28年4月 運営開始

- 再生・細胞医療分野を中心に研究開発から製品・商品化まで幅広く事業展開が可能な施設

**12 ペプチドリーム(株)**  
 平成29年度 運営開始予定

- 独自の創薬開発プラットフォームシステム:PDPSを用いた「特殊ペプチド」による創薬研究開発の拠点

**13 富士フィルムRiファーマ(株)**  
 平成28年度 運営開始

- 放射性・非放射性医薬品及び放射性標識化合物の研究、開発、製造、販売、輸出、輸入

**14 CYBERDYNE(サイバーダイン)(株)**  
 平成30年度 運営開始予定

- 医療・介護福祉機器等の研究開発・製造・販売等

**国家戦略特別区域に「東京圏」として指定**

- 世界から資金・人材・企業等を集める国際的ビジネス拠点・イノベーション拠点を形成するため、神奈川県、横浜市、川崎市が共同で取組
- 平成26年5月1日指定



# 力強い産業都市づくり(成長) 臨海部における国際戦略拠点の形成とマネジメント

## 多様な主体とともにイノベーション創出を目指す 拠点マネジメントの実施

- 拠点の活動を通じて、イノベーションや産業波及を生み出し、地域の産業振興への効果につなげる。

## リサーチコンプレックス推進プログラムに殿町拠点が 本採択(平成28年9月)

- マネジメントの実施にあたり、本プログラムを活用し、融合研究、事業化支援、人材育成等を一体的に実施

## 融合研究が展開

- 「再生医療」×「ロボット」による新たな脊髄損傷治療の開発
- 「創薬」×「IT」による革新的な医薬品の創出
- 「介護医療」×「データサイエンス」による要介護要因の解明  
など

## 事業化支援を推進

- シーズ、ニーズマッチング  
様々な人材が出会い、交流する場の設定 など

## 新たに人材育成機能が立地



## 市内を実証フィールドとして融合研究を促進 ～高齢者コホート調査を開催～

- 市内在住85歳から89歳までの自立した高齢者1,000名を対象に、世界屈指の規模となる都市型の健康調査を実施
- 地域に根差した調査により、高齢者の要介護に至る要因を分析し、高齢者の生活の質の向上や健康寿命の延伸に貢献
- 調査データを活用し、新事業の展開も目指す。

## 多様な主体の出会いの場の創出 ～「Tonomachi Cafe」(小人数研究会)の開催～

- 殿町で展開される研究テーマを軸に、研究者、中小企業などが、定期的に研究連携・交流



# 力強い産業都市づくり(成長) 臨海部における国際戦略拠点の形成とマネジメント

## 川崎市殿町地区と羽田空港跡地地区を結ぶ 新しい橋の整備に着手

- 羽田空港周辺地域及び京浜臨海部の連携を強化し、成長戦略拠点の形成を図るため、キングスカイフロントと羽田空港を結ぶ、羽田連絡道路の整備を実施
- 平成29年1月24日、川崎市及び東京都が都市計画事業認可を取得
- 平成29年7月に工事契約(予定)、工事期間は平成29年度～平成32年度

### 橋りょうイメージ図(羽田空港側より多摩川上流を望む)



## キングスカイフロントにおける 国際戦略拠点にふさわしい高機能な拠点整備

- 平成32年度の羽田連絡道路完成に合わせ、快適な研究環境、国内外からの来訪者の利便性向上、地域の安全対策、良好な景観形成など、キングスカイフロントの魅力や価値を高める取組を推進

### 目標とする整備・機能導入のイメージ

#### 交流・賑わい促進



公園と隣接ホテル等の一体的な整備・活用など

#### 多摩川の水辺の活用



多摩川・空港を展望できる交流・憩いの場を創出

#### 生活機能の導入

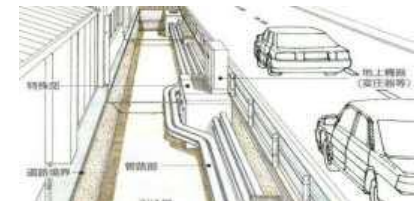
カフェ・レストラン、コンビニなどの飲食機能を導入

#### 来訪者の利便性向上



案内サインの整備による情報提供の充実など

#### 景観向上・安全対策



電線類地中化による景観向上や防災対策

#### 交通アクセスの強化

バス路線導入、新設など交通アクセスの強化

# 「成長」と「成熟」を支える基盤づくり 防災機能の充実

## 頻発する地震や風水害等に対する日頃からの備えを強化【平成29年度予算】

### 国土強靱化・地震防災戦略の推進

- 地域防災力の強化に向けた取組の推進
- 防災まちづくり支援の推進 など

### まち全体の耐震化など

- 密集市街地の改善に向けた取組 など

### 上下水道機能の安定確保

- 応急給水拠点の整備 など

### 気候変動への対応

- 五反田川放水路の整備 など

### 消防力の強化・救急医療体制の強化

- 消防署所の整備 など

### 災害時の拠点となる本庁舎等の建替え

- 新本庁舎の整備に向けた設計 など



防災訓練の様子

